



ミスミグループ通信

vol.52 2019年4月1日～2019年9月30日

証券コード：9962



© 2019 Donald Baechler / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo E3534

MISUMI Art Collection

ドナルド・バチェラー

『Composition with Guitar』

解説は裏表紙をご覧ください。



事業モデル革新と持続成長に
不可欠な投資を厳選し、
継続実行していきます。

代表取締役社長 CEO
大野 龍隆

世界的に厳しい市場環境

ミスミグループは2019年度初頭、製造業を取り巻く当面の市況を、「米中貿易摩擦の長期化懸念により中国経済は不透明感」「短期的には世界的な景気減速への懸念あり」と見立てていました。しかし現在、市場環境は私たちが当初見立てた以上に悪化しており、当社の業績にも深刻な影響を及ぼしています。中国に加えて、日本・欧州でも需要減少の影響を大きく受け、2019年度上期の連結売上高は1,571億円と、前年同期比5.7%の減収になりました。需要の減少を踏まえて、海外物流拠点新設などへの投資時期を見直し、収益構造の改善にも着手しましたが、営業利益は前年同期比26.2%

減の117億円となりました。経常利益は115億円（前年同期比27.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億円（前年同期比26.5%減）となりました。

製造業の低迷が続く中であっても、当社グループは「グローバル確実短納期」という事業モデルの優位性を活かし、より強固な顧客基盤の構築に努めています。全世界の顧客数は、直近1年間で9.8%増加しており、景気回復時に再成長を可能にする下地を形成しつつあります。私たちは製造業で進む「デジタルものづくり」の潮流は不変であると捉え、これに適合したモデル革新への先行投資を、厳選

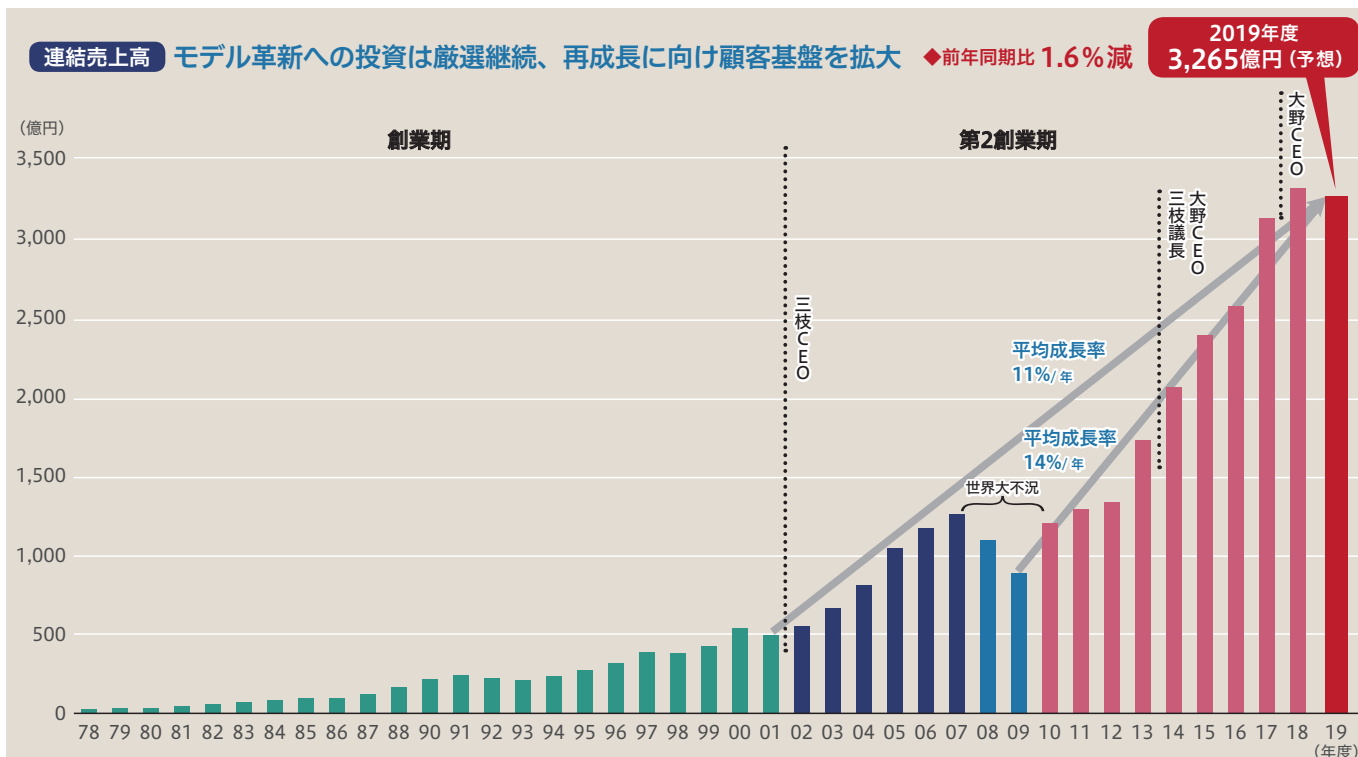
しつづ継続していきます。

当社グループの歩みを振り返りますと、現在の戦略的な経営体制を確立した2001年からの年平均成長率は11%、世界経済が危機に見舞われた2009年以降では14%にもなります。私は今回のような市況低迷の中でも、以上の取り組みによって自助努力による成長を可能とする強固な体質を構築していく考えです。

2019年度上期の主な業績（単位：億円）

	2018年度		2019年度	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高	1,666.6	3,319.3	1,571.3	3,265.0
営業利益	158.9	318.7	117.3	277.0
経常利益	159.7	318.1	115.6	273.0
親会社株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	115.7	240.3	85.1	201.0

●ミスグループの業績推移



(注) 1989年度は決算期を変更した都合上省略してあります。

下期は海外市場での増収を計画。通期業績は下方修正

2019年度下期は、FA事業、VONA^(※)事業の品揃えを拡大し、国内、東南アジア、北米市場などで増収を計画しています。ただし2019年度通期の連結業績見通しについては、現在の市場環境や需要動向を考慮し、売上高については前年並みの3,265億円、期初の計画に対しては8%の下方修正をしました。営業利益は期初の計画に対して21.8%減となる277億円としました。

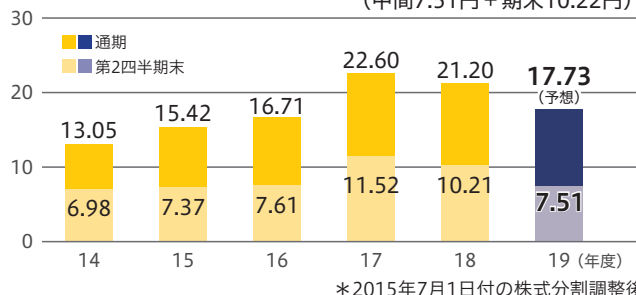
配当金につきましては、配当性向25%を基準に決定しており、中間配当金は1株当たり7円51銭（前年同期比2円70銭減）とさせていただきます。年間配当は前年比3.47円の減少となる17円73銭を見込んでいます。

一株あたり配当金*（単位：円）

2019年度 第2四半期末 1株につき **7.51** 円

2019年度 通期(予想) 1株につき **17.73** 円

(中間7.51円+期末10.22円)



ITと製造業ニーズへの対応力を併せ持ち、「生産材e流通革命」を目指す

事業基盤については、「確実短納期」の信頼性向上をねらいとしたITシステムのクラウド化を計画通りに進めています。基幹システムの全面刷新は2020年度以降に延伸しました。まずはクラウド化によるコスト低減の効果を刈り取ることを優先したものです。物流体制に関しては、2019年9月に本格稼働させた中日本流通センターと、2020年1月に移転して規模を拡張する東日本流通センターを皮切りに、本格的な自動化による新たな物流モデルを構築します。このモデルを海外拠点にも展開し、生産性の向上と確実短納期の強化を同時に追求していきます。

メーカー事業では、部品の3D CADデータをアップロードするだけで、即時の見積もりと最短1日出荷を可能にする「meviy (メヴィー)」のサービスに樹脂素材の商品を追加して、品揃えを拡充しました。今後もさらなる商品領域の拡大

や生産機能を強化することで成長を加速させていきます。

VONA事業では、この半年間で取扱商品の総数を2,670万点から2,940万点へと拡大させ、製造業向け流通事業者の中では世界最大規模を維持しています。今年度は中国とタイで「半日配送サービス」を開始し、お客さまから高い評価を獲得しました。現在は、韓国、ベトナム、インドネシアでの展開を進めています。

ミスミグループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つ競争優位性を活かしながら、グローバルで進む「デジタルものづくり」に適合したモデル革新を追求していくことで、製造業への対応力と、ITへの対応力を強化し、「生産材e流通革命」を目指します。

(※) VONA : Variation & One-stop by New Alliance. ミスミブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品、製造副資材やMRO（消耗品）などを販売する事業。

meviy（メヴィー）の成長拡大を加速

市場シェアNo.1のものづくりプラットフォームへ

meviyは、「3Dデータアップロードで即時見積もり、最短1日出荷」を実現する、革新的な部品調達プラットフォームです。その利便性の高さから、製造業を中心とした国内ユーザーは3万人を突破。リピート率は8割以上を誇ります。2018年度には、オンデマンド製造サービス市場調査※で市場シェアNo.1を獲得するなど、多くのお客さまへ浸透しています。

※株式会社テクノ・システム・リサーチ実施



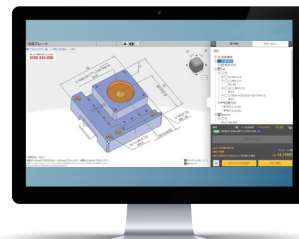
CEATEC出展ブース

経済産業大臣賞をはじめ、多方面で着実な評価を獲得

meviyは「部品調達におけるデジタルトランスフォーメーションの実現」という業績が認められ、令和元年「情報化促進貢献個人等表彰」において権威ある経済産業大臣賞を受賞しました。この他にも、イノベーション性が高く優れているものを表彰するCEATEC AWARD 2019 スマートX部門でグランプリを受賞するなど、meviyは多方面で着実な評価を獲得しています。

事業領域を拡大し新たな展開へ

従来の鉄、アルミやステンレスといった金属に加え、新たに11月からは樹脂素材の商品を追加して品揃えを拡充。また、協力メーカーとの連携も拡大し製造機能を強化するなど、お客さまニーズへの対応力を高めるとともに、医療や建設・住宅、化粧品や宇宙航空など、幅広い業界でのmeviy利用を促進していきます。



次世代のものづくりを担う若者を支援

ミスミグループは、将来の製造業を担う学生のものづくり支援や、人材育成への貢献に積極的に取り組んでいます。2019年度上期の取り組みをご紹介します。



8月

「夏休みものづくり教室」

ものづくり人材育成を目的として、中高生向けに「ミスミ×SAKURA Tempesta 夏休みものづくり教室」を開催。ミスミの本格的な部材によるマシン製作やゲームに挑戦し、終了後は多くの生徒から「エンジニアリングに興味を持った」などの声があり、ものづくりの楽しさを経験いただきました。本イベントを共同開催した中高生



中高生チーム SAKURA Tempesta



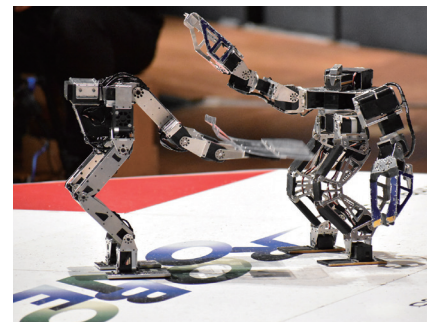
チーム「SAKURA Tempesta」は、女性がリーダーを務め、2年連続でロボット競技会の世界大会出場を果たしています。今後も工学分野における女性活躍支援も含め、ものづくりの魅力を伝える活動をとも行っています。

その他にも、「ミスミ学生ものづくり支援」として、ものづくりに挑戦する学生団体を対象に、ミスミ商品を無償提供するプログラムを毎年実施。これまでに延べ1,700を超える学生団体を支援してきました。

9月

ROBO-ONE (ロボワン) に協賛

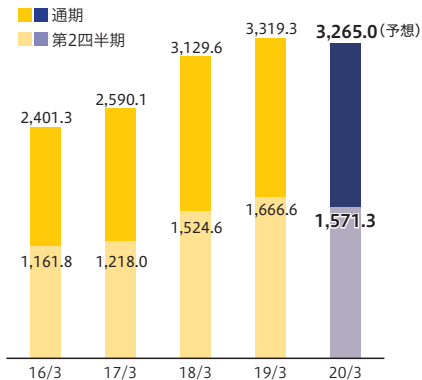
「ROBO-ONE」は、学生からプロのエンジニアまで幅広い層がエントリーする、二足歩行ロボットの格闘競技大会です。パンチや投げ技などで相手を倒し、最強のロボットを決定します。当社は2016年よりメインスポンサーとして協賛し、ものづくりに関わる人々の熱い想いを応援しています。



第35回決勝戦の様子（左：準優勝「りんぼ」、右：優勝「キング・プニ」）

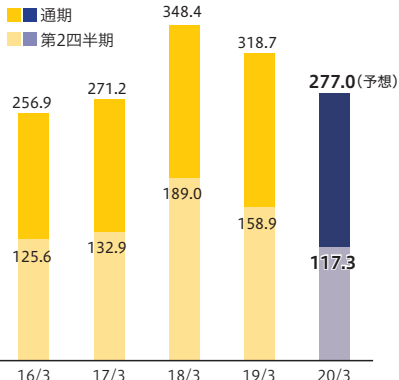
売上高 (単位: 億円)

1,571.3 億円
前年同期比 5.7% 減



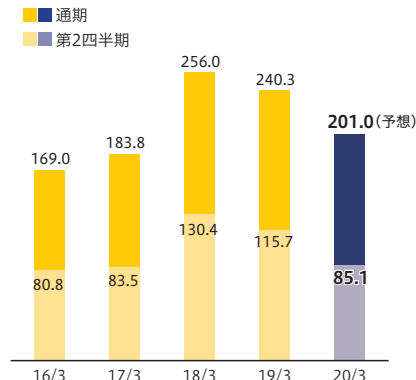
営業利益 (単位: 億円)

117.3 億円
前年同期比 26.2% 減



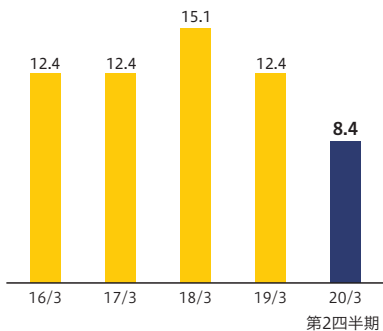
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益 (単位: 億円)

85.1 億円
前年同期比 26.5% 減



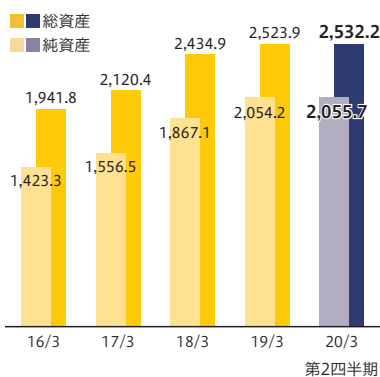
ROE (単位: %)

8.4 %



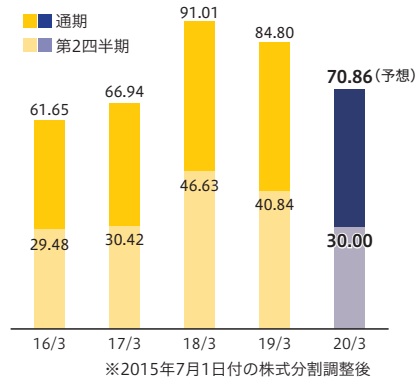
総資産・純資産 (単位: 億円)

総資産 **2,532.2** 億円 純資産 **2,055.7** 億円



一株当たり四半期(当期) 純利益[※] (単位: 円)

30.0 円



詳しい情報は、
ミスミグループの株主・投資家情報ページへ

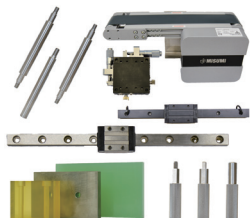
ミスミIR

検索



セグメント概況

FA 事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売

売上高

前第2四半期 560.6 億円 → 当第2四半期 498.3 億円

営業利益

前第2四半期 97.9 億円 → 当第2四半期 62.4 億円

売上高比率

31.7%

金型部品事業



プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売

売上高

前第2四半期 384.9 億円 → 当第2四半期 372.5 億円

営業利益

前第2四半期 32.3 億円 → 当第2四半期 24.9 億円

売上高比率

23.7%

VONA 事業



生産副資材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画

売上高

前第2四半期 721.0 億円 → 当第2四半期 700.3 億円

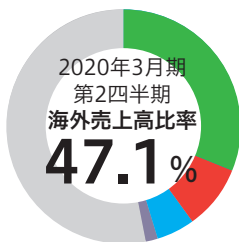
営業利益

前第2四半期 31.1 億円 → 当第2四半期 29.9 億円

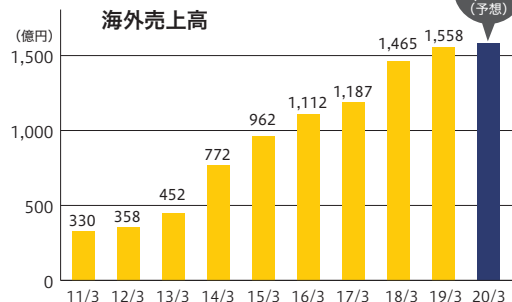
売上高比率

44.6%

地域ごとの状況



	前第2四半期	当第2四半期
中国・アジア	563.4億円	491.1億円
アメリカ	134.9億円	139.4億円
ヨーロッパ	86.3億円	81.4億円
その他	27.3億円	28.4億円
日本	854.6億円	830.8億円



連結財務諸表 (要約)

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2019.9.30現在	前期 2019.3.31現在
資産の部		
流動資産	169,296	175,620
現金及び預金	49,207	50,684
受取手形及び売掛金	60,351	67,252
その他	59,737	57,683
固定資産	83,932	76,772
資産合計	253,229	252,393
負債の部		
流動負債	35,686	39,520
固定負債	11,967	7,448
負債合計	47,653	46,968
純資産の部		
株主資本	207,831	202,384
その他の包括利益累計額	△ 4,455	1,135
新株予約権	1,648	1,331
非支配株主持分	550	572
純資産合計	205,575	205,424
負債純資産合計	253,229	252,393

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2019.4.1～2019.9.30	前第2四半期 2018.4.1～2018.9.30
売上高	157,133	166,668
営業利益	11,737	15,896
経常利益	11,566	15,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,510	11,573

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2019.4.1～2019.9.30	前第2四半期 2018.4.1～2018.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,366	2,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 287	△ 8,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,818	△ 3,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,936	445
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,323	△ 9,169
現金及び現金同等物の期首残高	41,753	51,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,076	42,544

▶ 会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名：MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル
資本金	130億4千5百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随する グループ経営に必要な機能を有する
従業員数	12,300名 (2019年3月31日現在のミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



▶ ミスミグループトップマネジメント (2019年11月1日現在)

取締役	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	シニアチェアマン	三枝 匡
	取締役副社長	池口 徳也		
	取締役副社長	西本 甲介		
	常務取締役 CFO	男澤 一郎		
	常務取締役 CIO	佐藤 年成		
	取締役 (社外)	小城 武彦		
	取締役 (社外)	中野 庸一		

経営	ミスミグループ本社	企業体・サービスプラットフォーム		
執行役	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	中国企業体 代表執行役員 企業体社長	金谷 知樹
	取締役副社長	池口 徳也	アジア企業体 代表執行役員 企業体社長	清水 重貴
	取締役副社長	西本 甲介	FA企業体 代表執行役員 企業体社長	中川 理恵
	常務取締役 CFO	男澤 一郎	3D2M企業体 代表執行役員 企業体社長	吉田 光伸
	常務取締役 CIO	佐藤 年成	VONA企業体 VONAエレクトロニクスG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長	中村 茂仁
	常務執行役員	和田 高明	VONA企業体 VONAツールG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長	加藤 匡一
	常務執行役員	恒松 孝一	人材開発サービスプラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子
	グループ統括執行役員	丸井 武	物流サービスプラットフォーム 代表執行役員	岡本 道明
	グループ統括執行役員	有賀 誠	生産サービスプラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工
	グループ統括執行役員	萩平 和巳	OST企業体 企業体社長代行	古橋 崇
	グループ統括執行役員	白石 裕		

監査役	監査役	宮本 博史	創業者	シニアチェアマン 第2期創業者	三枝 匡
	監査役 (社外)	野末 寿一		特別顧問・創業者	田口 弘
	監査役 (社外)	青野 奈々子			

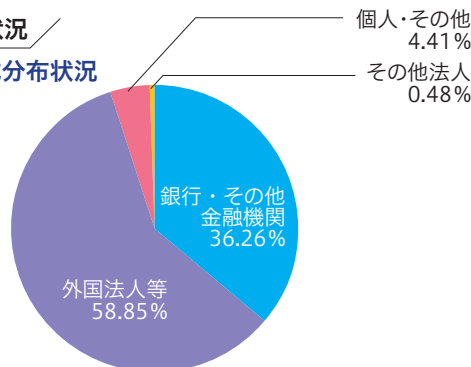
▶ 発行可能株式総数	1,020,000,000株
▶ 発行済株式総数	283,791,397株
▶ 株主数	5,810名
▶ 大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	48,127	16.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	29,068	10.25%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 常任代理人 香港上海銀行東京支店	13,683	4.82%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.76%
JP MORGAN CHASE BANK 380055 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	8,287	2.92%
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	5,689	2.01%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,682	2.00%
THE BANK OF NEWYORK MELLON 140044 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,654	1.99%
THE BANK OF NEWYORK MELLON 140051 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,102	1.80%
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	5,092	1.80%

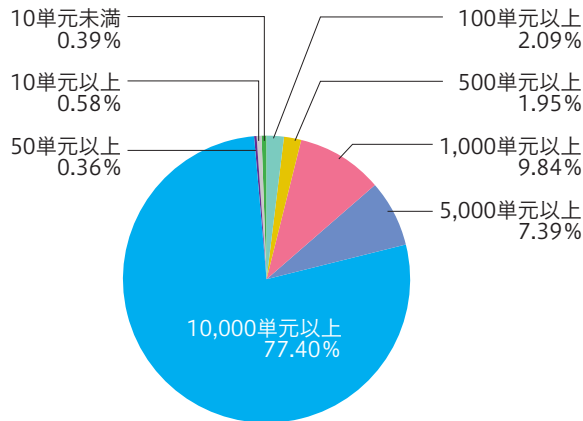
(注)1 持株比率の算出にあたり、自己株式は除いております。
(注)2 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

株式の分布状況

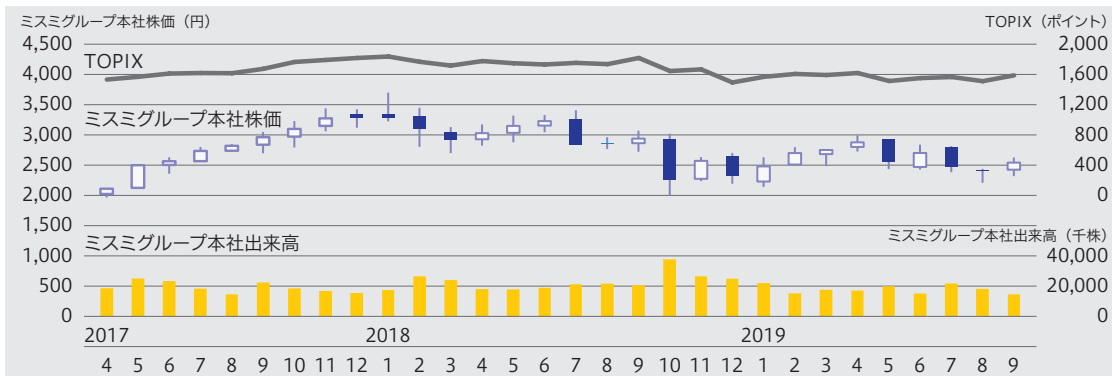
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



株価の推移



▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00-17:00)
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない 事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/

注 意 事 項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買収請求その他各種お手続きについて

原則、株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

MISUMI Art Collection

Donald Baechler [Composition with Guitar]

ドナルド・バチェラー『コンポジションウィズギター』1988年

1980年代のニューヨークでは、ソーホー、イーストヴィレッジに多くのアーティストが移り住み、その中にはキース・ヘリング、ケニー・シャーフ、ジャン・ミシェル・バスキア、そしてマドンナなども含まれ、このグループはダウNTOWN500と呼ばれ、国際的にも知られていました。

しかし、バチェラーはグラフィティアートや彼らのクラブシーンから少し距離を置き、あっと言わせるような表現を探求しました。まるで子供のような気取らない描き方ですが、良く見ると線や色、形が画面にバランスよく配置されていることに気づきます。彼の子供のような絵。それは、子供には描くことのできない子供のような絵なのです。



株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL : (03)5805-7037 FAX : (03)5805-7014

URL : <https://www.misumi.co.jp/>

